

糖尿病通信



薬剤部
浦野 真弘

★ 今回のテーマ ★

近年新しい糖尿病治療薬が続々と開発されています。それに伴い治療選択の幅が広がっており、うまく組み合わせることで、その方に適した治療ができるようになりつつあります。

今回はその新しい薬剤のうち1つをご紹介します。

ただし、今回紹介する薬剤が全ての方に適正があるわけではありません。主治医がみなさんの状態にあわせてその都度適切な処方をしていきますので必ず主治医の指示に従うようお願い致します。

GLP-1受容体作動薬

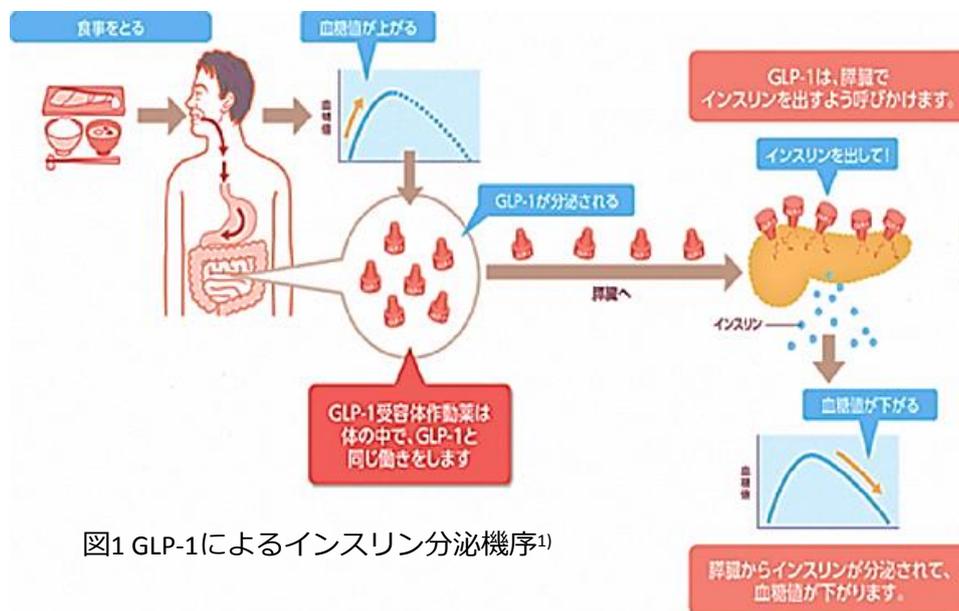


図1 GLP-1によるインスリン分泌機序¹⁾

GLP-1（ジーエルピーワン）は、もともと私たちの体にあるホルモンで、血糖値を下げるインスリンを膵臓から分泌させる働きがあります¹⁾。

食事をして、消化管の中に食べ物が入ってくると、小腸からGLP-1が分泌され、その一部は、血液の中を流れて膵臓に運ばれます¹⁾。

膵臓にたどりついたGLP-1は膵臓で作用し、膵臓からインスリンが分泌されると血糖値が下がります¹⁾。

GLP-1受容体作動薬はGLP-1に似た構造の成分を体内に投与し、GLP-1と同じ働きをさせる薬です。

1) 引用 日本イーライリリー株式会社 『知りたい!糖尿病 GLP-1受容体作動薬とは』
<https://www.diabetes.co.jp/dac/coexistence/glp-1> (2021/7/22)

今までのGLP-1 受容体作動薬は



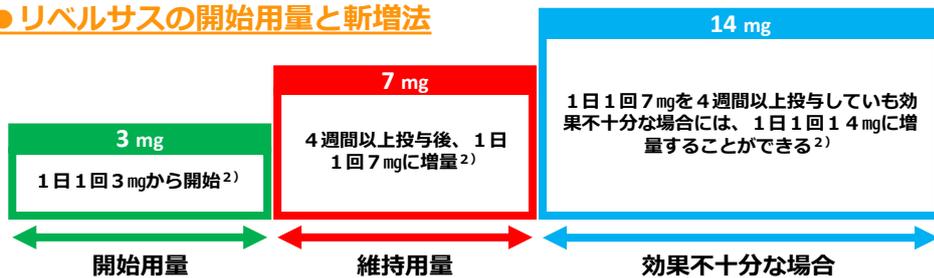
全て自己注射の製品しか発売されていませんでした。



世界初にして唯一の飲み薬GLP-1 受容体作動薬が販売となり、
血糖コントロールのための新たな治療オプションが増えました。



●リベルサスの開始用量と漸増法



²⁾リベルサス 添付文書
https://www.info.pmda.go.jp/go/pack/2499014f1021_1_02/ (2021/8/22)

●主な副作用

- ・ **胃腸障害**：使い始めに吐き気、下痢、便秘などの胃腸症状があらわれることがあります¹⁾。
- ・ **低血糖**：GLP-1受容体作動薬は空腹時には働かず、食事をとって血糖値が高くなったときに働くため、低血糖を起こしにくいといわれています¹⁾。
ただし、SU薬やインスリンと一緒に使う場合は低血糖への注意が必要です¹⁾。

●注意事項

¹⁾ 引用 日本イーライリリー株式会社『知りたい! 糖尿病 GLP-1受容体作動薬とは』
<https://www.diabetes.co.jp/dac/coexistence/glp-1> (2021/7/22)

- ⚠ 1日のうちの最初の食事又は飲水の前に空腹の状態での服用してください³⁾。
- ⚠ コップ約半分の水(120ml以下)で内服してください³⁾。
- ⚠ 服用時及び服用後少なくとも30分は、飲食及び他の薬剤の経口摂取を避けてください³⁾。
- ⚠ 分割・粉砕及びかみ砕いて服用しないでください³⁾。
- ⚠ PTPシートはミシン目に沿って切り取ってください³⁾。
- ⚠ 湿気と光の影響を受けやすいため、内服直前にPTPシートから取り出すようにして下さい³⁾。

³⁾ 引用文献 『服薬指導箋(リベルサス錠を内服されている方へ)』
https://www.msconnect.jp/static/mc/japan/pdf/rybelsus_productassistance_001.pdf (2021/7/22)

**※病態に応じて処方されるため、全ての方に適しているわけではありません。
必ず主治医の指示に従うようにお願いします。**

3 Minutes Exercise ~3分間でキラリボディになろう~

スポーツの秋です。
紅葉を楽しみながら
ウォーキングを始め
てみては
いかが
ですか?



- 1) 横になって、両膝を曲げて持ち挙げます。
- 2) お尻の穴が上を向くように太ももをお腹に近づけます。
- 3) そのまま10秒保持 4) 可能なら前後に揺らす

